

# 神奈川県 造園業協会報

発行所  
一般社団法人  
神奈川県造園業協会  
横浜市中区常盤町2-10  
伸光ビル2階 〒231-0014  
電話 (045) 662-8793  
662-1767  
FAX (045) 662-4381



<http://www.kanagawazoening.or.jp>

## (一社) 神奈川県造園業協会 第45回 通常総会開催



技能功労者 木下透氏



優秀技能者 本多公江氏



退任理事の皆様



役員選任による正副会長の皆様

第四十五回(社)神奈川県造園業協会通常総会が五月二十八日ホテル横浜ガーデンに於いて出席者百二十一名委任状百九十八名のもと開催されました。

松倉副会長の司会で始まり川田副会長の開会の言葉、続いて小山会長挨拶後、第四十三回会長表彰が行われ、技能功労者十一名を代表して(株)木下庭園管理 木下透様、優秀技能者二十四名を代表して(株)井上造園 本多公江様、青年優秀技能者七名を代表して(株)アグサ 木村将太郎様に記念品、賞状が小山会長より授与されました。

これからの益々のご活躍を期待いたします。

続いて、定款第一七条二の規定により小山会長が議長に選出され、第一号議案平成三十年度収支決算報告及び監査報告が一括審議され満場一致で承認されました。

次いで、第二号議案役員選任議案が提案審議され、満場一致をもって理事・監事が選任されました。

続いて、総会を暫時休憩して理事互選による会長・副会長選出のための第一回理事会が開催され、総会再開後、岡部正副会長・選考準備委員会委員長より全会一致をもって、会長に川俊一氏が再任、副会長に川

田秀一氏、松倉仁氏が再任、玉井隆次氏、足立原哲男氏が新任された旨の報告がされ、承認されました。

次いで、報告事項として平成三十年度事業報告が一括報告され、次に平成三十一年度事業計画及び収支予算について一括報告がされました。

続いて、この度の退任される役員七名の方々に對し、感謝と敬意を表する言葉が添えられて感謝状と記念品が贈呈されま



青年優秀技能者 木村将太郎氏

した。

続いて、玉井・足立原新副会長による就任挨拶、甘利副会長の閉会の言葉で通常総会は終了しました。

その後「みどりを創り、育てる」集いが盛大に開催されました。



小山会長挨拶

### 小山会長挨拶

会長の挨拶の中で、二つのお願いと、一つの報告がありました。

お願いの一つは、協会の会員数が毎年減っている現状

の島セーリング会場における要望において、神奈川県議会自民党みどりの会の先生方と、県行政の職員の皆様方と、発注者、受注者の

状から会員数の増強。二つ目は、協会の目玉でもある技能検定の受験者が減っており、若手育成をしていくにはどうして

も、この技能検定を受験していただきたく、各会社で働きかけていただきたい。

次いで、報告事項では江の島セーリング会場における要望において、神奈川県議会自民党みどりの会の先生方と、県行政の職員の皆様方と、発注者、受注者の

その為に皆様と手を携えて、公園緑地・庭園・県域青年部会の3部会、総務厚生・情報・教育研修・樹木資材委員会の4委員会の活性化を図り、造園業界で働く人々が明るい未来と希望がもてるように取り組んでまいります。どうぞ今後とも皆様の一層のご支援・指導を賜りますようお願い申し上げます。」と挨拶がありました。

最後に、「造園業界の発展の為に時代のニーズに合った技術、技能の向上と承継、若手造園人の養成に積極的に取り組んでいくことが肝要であると存じます。

枠を超えて協会と三者で現地見学を行い、今までにはなかったことですが、三者が同じ目線で理解ができ、三月に入札があった旨の報告がありました。

# 神奈川県造園業協同組合

## 令和元年通常総会開催



甘利理事長挨拶

神奈川県造園業協同組合  
通常総会が五月二十八日、  
ホテル横浜ガーデンに於い  
て開催されました。  
長谷川議長のもと、第一

続いて、第三号議案平成  
三十一年度事業計画(案)  
及び第四号議案平成三十  
一年度予算(案)が一括審議  
され承認されました。  
続いて、第五号議案役員  
選任議案が提案審議され満  
場一致で承認されました。  
次いで、正副理事長選出  
のための第一回理事会が開  
催され、渡邊正副理事長・  
選考準備委員会委員長のも  
と審議され、理事長に松倉  
仁氏が新任され、副理事長  
に長谷川寿雄氏、遠藤幸雄  
氏が再任され、石川正典氏  
が新任されました。

次いで、報告事項横浜傷  
害火災(株)代表取締役小倉均  
の保険料不正流用の対応状  
況が説明されました。  
次いで、この度退任され  
ます六名の方々に対し感謝  
と敬意を表する言葉が添え  
られて感謝状と記念品が贈  
呈されました。  
続いて、新任・再任・退  
任者の挨拶後、井上理事に  
よる閉会挨拶で総会は終了  
し、その後懇親会が開催さ  
れ和やかなひとときとなり  
ました。

### 甘利理事長挨拶

組合の皆様には平素より  
組合の事業運営に對しまし  
て、格別のご支援ご指導を  
賜り、この場をお借りして  
厚くお礼申し上げます。ま  
た、協会の運営に多大なる  
ご尽力を賜っておりますこ  
とを心より感謝申し上げます。  
さて、横浜傷害火災(株)  
代表取締役小倉均による保  
料の不正流用の未収金につ  
きましては、三十年度の総  
会において、損金処理する  
ことで承認を得ており、こ  
の度の決算報告の中で処理  
報告がございます。このよ  
うな不祥事が発生しないよ  
う管理に万全を図ってまい  
ります。  
今後も、労働災害に対す  
る関心と対策が強く求めら  
れており、共済制度並びに  
総合補償制度の充実強化に  
取り組んでまいりますので、  
皆様方の一層のご支援  
を宜しくお願い申し上げます。  
ご挨拶いたします。

い手育ができる環境を整  
え、他業種、他業界に負け  
ないよう、皆様方の一  
層のご支援を宜しくお願い  
申し上げます。  
「第十二回かながわ街路樹  
フォトコンテスト」  
表彰式開催

引き続き各賞に賞状と賞金が  
授与されました。「石井氏  
の作品は、箱根連山に  
真つ白な富士山、広  
がる青空を背景に時代を  
うかがわせる松並木を  
写しこんだ。一見する  
と誰にでも撮影できそ  
うな風景だが、撮影条  
件、構図が寸分の狂い  
も無く収まっている。  
松の枝葉を青空の中に  
過不足無く配置。天候、  
撮影時間を十分に計算

して撮影に臨んだのでしょ  
う。」と選評されました。  
今年も、国土交通省関東  
地方整備局横浜並びに相武  
国道事務所、神奈川県・横  
浜市・川崎市・神奈川県新聞  
社、テレビ神奈川、NHK  
横浜放送局の後援を得て  
「第十三回かながわ街路樹  
フォトコンテスト」の作品  
を募集しておりますので多  
数の応募をお待ちしてい  
ます。



最優秀賞を受賞した石井良二氏

### (一社)日本造園建設業協会神奈川県支部

## 第四十三回通常総会開催



田口支部長挨拶

五月二十八日第  
四十三回通常総会が  
ホテル横浜ガーデン  
で開催されました。  
佐々木総務委員長  
の司会で始まり、高  
橋副支部長の開会の  
言葉、田口支部長挨拶  
の後、支部規定に  
より田口支部長が議  
長に選出され、第一  
号議案平成三十一年度  
会務報告及び事業報  
告、第二号議案平成

三十年度収支決算報告及び  
監査報告が一括審議され満  
場一致で承認されました。  
続いて、報告事項として、  
平成三十一年度事業計画、  
平成三十一年度収支予算が  
報告され、田澤副支部長の  
閉会挨拶で通常総会は終了  
しました。

### 田口支部長挨拶

神奈川県支部総会にご出  
席いただきまして誠にあり  
がとうございます。現在の

会員数は53社で全国で東京  
について会員数の多い支部  
であります。また、街路  
樹剪定士においては、約  
1100名となり、これは  
全国最多であります。  
さて、日造協の事業であ  
ります造園フェスティバル  
2018では、今回明治  
150年記念大磯邸園の一  
部公開がされることにな  
り、旧吉田邸があります城  
山公園にて開催し、日造協  
のPRと特別講演をさせて  
いただきました。  
そして、来年の2020  
年東京オリンピック・パラ  
リンピックが開催され、神  
奈川県では江ノ島でセーリ  
ング競技が行われます。昨

また、女性の方にもつと  
造園業に入職してもらい、  
また、離職者を減らす試  
みとして、横浜市造園協会主  
催、日造協協賛で、「女性  
活躍推進講座」を開催いた  
しました。今年度以降も女  
性だけでなく若手社員や高  
校生等にも、興味を示して  
もらえる活動をしていくよ  
うに思っております。そし  
て、業界全体で少しでも担

「松も冬支度」最優秀賞を  
石井良二氏、「花盛り」優  
秀賞を七五三木洋一氏に、  
大河原審査委員より講評



最優秀賞「松も冬支度」

大河原審査委員より講評

# 「かながわのみどりを創り、育てる」 集い開催

第四十五回神奈川県造園業協会通常総会・第四十三回日本造園建設業協会神奈川県支部通常総会終了後、川県支部通常総会終了後、「かながわのみどりを創り、育てる」集いが開催されました。

開会に先立ち、神奈川県造園業協会役員改選により、再任されました小山会長より挨拶、続いて、日本造園建設業協会神奈川県支部田口支部長より挨拶が行われました。

続いて、来賓の方々を代表して、第百十二代梅沢裕之神奈川県議会議長、浅羽義里神奈川県副知事、森正明神奈川県議会自民党みどりの会副会長より、それぞれ協会への思いと感謝、激励のお言葉をいただきました。



浅羽神奈川副知事挨拶



梅沢神奈川議会議長挨拶



森神奈川県議会自民党みどりの会副会長挨拶

次いで、県幹部職員、関係団体の来賓紹介に続き、公益財団法人神奈川県公園協会理事長平野浩一様の乾杯の発声で、和やかな懇親会となりました。

## 「みどり行政に関する要望書」 ～五項目～提出

神奈川県造園業協会と日本造園建設業協会神奈川県支部共同で、六月二十五日に自由民主党神奈川県支部



要望書の提出

連合会・自由民主党神奈川県議会議員団へ、継続要望五項目について要望した。要望事項として、継続要望①都市公園の再整備、緑地の保全、緑化の積極的な推進を実現するため緑化関連公共事業予算の確保・増

加と受注機会の確保②造園に関する整備及び維持工事は分離し、指定建設業者である造園専門業者に発注を、また、造園技能士等各種資格所有者の在籍している業者への発注③一般社団法人日本

造園建設業協会認定の街路樹剪定士の積極的活用と街路樹剪定士を下請けではなく元請けの条件として仕様書の明記④「明治記念大磯邸園」整備における神奈川県としての積極的な取り組みについて⑤校庭及び園庭の芝生化の推進並びにグラウンド基盤の整備を図るための助成措置と芝生化工事及び維持管理工事の造園専門業者への発注について、造園業界の大変厳しい現状をふまえて要望事項の実現に向けて強く申し入れられた。

ヒアリングの中で、予算の状況やパークPFIの造園業界の動向、校庭芝生化した後の維持管理予算の最低限の必要額などの質疑応答が行われたのち、造園業会と連携して一挙に行動していきたいとの議論がなされた。

### 一般社団法人神奈川県造園業協会

## 労働保険事務組合総会開催



岸会長挨拶

〔社〕神奈川県造園業協会労働保険事務組合総会が六月二十八日ホテル横浜ガーデンに於いて出席者十五名委員状三十七通のもと開催されました。

中島事務局長の司会で始まり井上副会長が開会の言葉を述べ、岸会長が挨拶されました。

会則第十五条三により、岸会長が議長に選出され、第一号議案平成三十年度事業報告、次に第二号議案平成三十年度決算報告及び監査報告が審議され、満場一

致で承認されました。

続いて、第三号議案任期満了に伴う役員改選について審議され、会長に岸純一氏が再任され、副会長に長谷川寿雄氏、井上友二氏が再任されました。

次いで、報告事項平成三十一年度事業計画、次に平成三十一年度収支予算について報告がされました。続いて、この度理事を退任されます島海務様、吉田志郎様、村木健一様に対する感謝と敬意を表する言葉が

添えられて感謝状と記念品が贈呈されました。

以上で本日予定された議事の審議及び報告事項が終了し、総会は滞りなく閉会しました。

総会終了後、懇親会が開かれ、和やかなひとときとなりました。このところ労災事故が多発しております。無事故で安心な職場でありますよう、ご協力宜しくお願い致します。

### 労働保険事務組合役員一覧表

役職名	氏名	支部名	事業所名
会長	岸 純一	緑・東	(株)貝塚造園
副会長	井上 友二	神 奈 川	井上園
副会長	長谷川寿雄	戸 塚	(有)正進園
理 事	小山 俊一	湘 南 東	(株)やまなか園建設
理 事	遠藤 幸雄	湘 南 西	(有)遠藤商事
理 事	甘利 憲一	県 央	(有)甘利園
専 務 理 事	中島 忠	本 部 扱	事務局
監 事	瀧川 隆雄	鶴 見	(株)滝川園
監 事	笠原三貴也	横浜港南	(株)港南植木ガーデン

総務・厚生委員会委員一覧

Table with 3 columns: 支部名, 氏名, 事業所名. Lists committee members across various branches.

情報委員会委員一覧

Table with 3 columns: 支部名, 氏名, 事業所名. Lists information committee members.

教育研修委員会委員一覧

Table with 3 columns: 支部名, 氏名, 事業所名. Lists education and training committee members.

樹木・資材委員会委員一覧

Table with 3 columns: 支部名, 氏名, 事業所名. Lists tree and material committee members.

協会・役員一覧表

相談役 岸本 和好 鶴見 富士造園(株)
相談役 鈴木 一松 旭 (株)みやした園芸
相談役 石川 龍二 相模原 (株)植藤

協会役員一覧表

Table with 4 columns: 役職名, 氏名, 支部名, 事業所名. Lists association officers and their details.

支部長一覧

Table with 3 columns: 支部名, 氏名, 事業所名. Lists branch heads.

組合役員一覧表

Table with 4 columns: 役職名, 氏名, 支部名, 事業所名. Lists union officers.

公園緑地部会幹事一覧

Table with 3 columns: 支部名, 氏名, 事業所名. Lists park and greenery department officers.

庭園部会幹事一覧

Table with 3 columns: 支部名, 氏名, 事業所名. Lists garden department officers.

県域青年部会幹事一覧

Table with 3 columns: 支部名, 氏名, 事業所名. Lists prefectural youth department officers.

# 「3部会・4委員会の紹介」

## 公園

### 緑地部会

#### 部会長

原田 満久



公園緑地部会会議の様子

令和元年の今年は中期計画の初年度として、オリピック・パラリンピックに向けて活動を進めています。行政に対してお願いするだけでなく、行動を通して公園緑地部会の實力を示

してきたいです。芝生化プロジェクト他、具体的に始まっているものもあります。神奈川県、緑地連、日造協とも協力して進めています。

きます。部会メンバーが若返って意見の交換も活発になり、技術研修はもちろんのこと、経営研修の開催も考えています。会費を払って部会に入っているメリット

## 県域

### 青年部会

#### 部会長

荒井 隆佑

102時間講習に、より多くのエントリーを望んでいます。(なお、同日は庭園部会会議に引続き、検定委員、補佐員、指導員による技能検定対策会議も行われます。)

県域青年部会は、造園業界の未来を担う若手世代が親睦を深める会です。各支部でも先人が築いてきた技術やノウハウを若手世代が引き継げるよう、造園技術の講習会や視察等を行っています。

委員会の大きな仕事として、会員間の交流をより深めて頂くことがあります。その一つが毎年行っているゴルフコンペで、今年は11月に開催されます。会員の皆様へはグループ共済を広く周知してより多くの方に加入をお願いします。労災上乗せや労働保険事務組合についてもあまり知られていないので、こちらも広めていきたいと思っています。新規会員拡大に向けて

## 総務厚生委員会

委員長 秋島 寛隆

おり、部会に参加するだけでもとても勉強になります。また近年では、神造協のマスコミキャラクターである「かなぞう」のPRとして各種イベントでの活

動も進めていきます。パンフレットも新しくなり、各支部長を通して支部の皆さんにも協力して頂いております。協会にパンフレットと入会申込書があるので協会に加入したい、興味があるという方がいらしたらご紹介ください。寡黙なメンバーが多いのですが、必要なときはしっかりと意見が出るのでまとまった委員会になっています。

## 教育研修委員会

委員長 内藤 研二

てほしい」「取材に来てほしい」という方、協会にご

連絡ください。情報委員が伺います。

教育研修委員会では、他の委員会や部会にもご協力いただきながら、各種研修会・講習会を開催しています。講習会に参加くださる方の、やる気に満ち溢れた眼差しに「下手なことは教えられる」と毎回緊張していますが、講師陣みな「長年の経験により培ってきた知識を後世に伝えていきたい」とその一心で壇上にあがっています。また、今年度は、今までにない新しい講習会の開催に向けて、現在講習内容の検討を始めています。「こんなことやりたい」「あんなこと教えてほしい」等ご要望がございましたら、どしどしお待ちしております。

## 樹木資材委員会

委員長 小嶋 康熙

委員会の主な事業として、病害虫防除講習の開催や横浜農業協同組合、神奈川県植木生産組合連合会の審査協力及び出品等になります。樹木が中心となる為、より有効活用が出来るよう造園業の皆様のお役にたてる委員会にしていきたいと思っています。今回初めて委員長の大役を任せられ戸惑っておりますが植木業界全体を盛り上げるよう誠心誠意努力する所存です。

## 庭園部会

#### 部会長

神之園 文男



庭園部会会議の様子



技能検定員・補佐員・指導員による技能検定対策会議の様子

主な事業はなんとと言っても技能検定及び造園技術講習会の実施です。部会長は先人が残した造園技術の承継と併せて、将来の担い手を発掘・支援していく活動も見据えており、技術力の指針となる技能検定や

れ、本年度の技能検定試験に向けての具体的な実施要項が検討されました。)

情報委員会では年3回の会報の発行の他、ホームページやメールマガジンの運営を行っています。2016年からは「女性がより活躍できる造園業界」をテーマに、会報で特集記事を組んできました。今年度は協会活動について皆さんに知ってもらおうと、技能士検定や各委員会活動、各支部の研修会等の取材を

## 情報委員会

委員長 犬山 清史

考えています。会報の電子化やメールマガジスト活用についても続けていきます。メンバー全員がネットやパソコン活用のスキルに長けているわけではありませんが自由に意見が飛び交い、終了後の懇親会ではお酒という潤滑剤でアイデアが湧き出てきます。女性委員の活躍も情報委員会を支えています。こんな特集をやっ



# 病害虫防除講習会開催

協会と神奈川県農業技術センター病害虫防除部・神

奈川県植木連合会と共催で令和元年度第一回病害虫防除講習会を開催

村・植木連・その他団体五十名)が参加、二時間半に亘り「農業取締法と適正使用」「農業を安全に使用するために」「農薬用マスクの知識と使い方」の講義が行われました。

この講習会は農薬散布時の人に対する健康や周辺住民・環境への安全性確保の大切さについて発注する側の行政と受注する造園関係事業所が共通認識を共有し、円滑な病害虫防除を図ることを目的とした重要な講習会で、講習会終了後出席者には「修了証」が手渡されました。

第2回目は令和二年二月七日神奈川県農業技術センターに於いて実施する計画で現在受講希望者を募集しています。申込希望者は協会にお問い合わせください。



病害虫防除講習会小山会長挨拶

係者講習会が七月三十日「万国橋センター」において実施され総勢八七名(造園業関係三七名)県・市町

なお、詳細は神造協ホームページに掲載しております。

## 公園緑地部会活動報告

### (1)フルハーネス型墜落制止用器具作業特別教育講習会を開催

公園緑地部会副部長 北村 義輝

第一回目の講習会は、四月二十五日に、第二回目は七月十七日に、IHI技術教育神奈川センターにおいて、一回目は三十九名、二回目は三十一名の参加を得て行われました。

今回は労働災害で、もっとも多い墜落・転落の防止をするための、フルハーネス型安全帯の使用についての特別講習が開催され、一日を通して集中した講習会となりました。



フルハーネス型墜落制止用器具講習会の様子



### (2) 社かながわ土地建物保全協会安全講習会

公園緑地部会長 原田 満久

七月十一日午後より、かながわ土地建物保全協会からの講師派遣依頼を受けて、病害虫の防除講習会が横浜開港記念会館にて、二十二名の参加を得て開催されました。



かながわ土地建物保全協会安全講習会の様子

今回は住宅管理業務に必ず必要な知識が求められる病害虫の防除についての講習でした。農薬の使用時における基本知識や写真による実際の病害虫の種類、また、病害虫の被害にあった時の症状等を発表しました。

## 芝生化事業が広がっています

### ～校庭・園庭から公園、緑地へ

#### 芝生化プロジェクトチーム



40名が植栽作業を行いました。苗は県立中央農業高等学校の生徒が育てたものです。植付補助及び指導として芝生化プロジェクトチームのメンバーも加わり、植栽作業が初めてで移植ゴテの使い方もぎこちない感じでしたが、徐々に作業にも慣れて、3000ポットの苗も午前中にはすべて植え終わりました。

高校生による芝生の植栽が行われました。来年のオリンピック・パラリンピックに向けて県が進めている江ノ島周辺の整備に伴う事業の一環で、島に入るとすぐ左手にある芝生広場の整備を高校生にお手伝いしてもらおうというものです。担当したのは県立中央農業高等学校(海老名市)の園芸科学科の三年生で、校庭芝生化に使う苗を育ててくれている学校です。今回は自分で育てた苗を植栽しました。当日は湿気のある梅雨空でしたが学生17名先生、県職員に加え、TVKテレビの取材もあり賑やかな作業でした。足下が悪いことを予測してかゴム足袋を履き作業衣で臨む姿はさすが農業高校の学生、手際よく作業を進めていました。来年のオリンピック・パラリンピックには青々とした芝生が来場者の憩いの場になるのが楽しみです。



### 「県立大和東高等学校」

七月九日、神奈川県立大和東高等学校(大和市深見)において芝生化工事が行われました。バレーコートや



駐輪場として利用されていた場所に芝の苗を植栽しました。当日はあいにくの曇り空でしたが、午前中は県立瀬谷養護学校の学生30名、午後は大和東高等学校の学生40名、学校職員、保護者、卒業生が参加してティフトン芝の苗を植え付けました。苗は県立中央農業高等学校が育てたものです。芝生化プロジェクトチームのメンバーもお手伝いさせて頂きました。初めはぎこちない手つきで穴を掘り、苗を植えていましたが慣れるにつれてスピードアップ、自分の担当分より広く作業する学生もいて予定より早く作業が終わりました。芝生化後は部活動のウォーミングアップ、放課後喫茶室、近くの老人ホームの方との交流、ピクニックツアーなど様々な活用が期待されています。

### 「江ノ島北緑地」

七月二日、江ノ島北緑地内(藤沢市)の芝生広場で

### 「県立岩戸養護学校」

六月十一日から県立岩戸養護学校のグラウンド芝生化事業が始まりました。施工箇所はグラウンドの中心部分の600㎡、作業前のグラウンドは土壌がかなり締め固まっていた為、バックホウにて耕耘を行い、その後土壌改良としてピートモス、堆肥、化成肥料を耕運機で攪拌しました。六月二十一日には岩戸養護学校の生徒

令和元年度

# 造園技能士実技講習会・技能検定実技試験・学科講習開催

## 実技講習会

七月二十日から二十三日迄の4日間J A横浜東支店きた総合センターに於いて開催されました。

一級五十一名、二級三十一名、三級二名が受講

し、九名の指導員の熱心な指導を受け猛暑の中、大汗をかきながら一生懸命取り組んでいました。

また、要素模擬試験では試験結果に一喜一憂し、要素の解説に真剣に耳と目を傾けていました。さらに、

三十、三十一日の二日間追加講習を開き、一級二十二名、二級六名が受講されました。

今年も熱中症対策として途中十五分の休憩を二回とり、また、受講者に塩あめを配布しました。

## 実技検定試験

八月三日から五日迄の三日間実技検定試験が行われました。

今年、一級五十八名、二級六十五名、三級五十四名計百七十七名が受験され

ました。

実技試験は三日間とも猛暑となり、熱中症に罹る受験者が数名いましたが、検定員・補佐員の見守る中、これまでの研鑽と日頃培った技を発揮すべく作業に取り組んでいました。



技能検定判断(要素)模擬テスト

せて感謝申し上げます。

## 一・二級造園技能士学科講習会を開催

八月十三日かながわ労働プラザに於いて一・二級造園技能士学科講習会を教育研修委員四人の講師により午前・午後にわたり教本造園施工必携とサブテキストを基に熱心に講義が行われ一級二十一名、二級二十名計四十一名の受講生が真剣にメモを取っていました。



技能検定会場設営



技能検定2級課題モデル



技能検定1級実技講習会



技能検定2級実技講習会



技能検定1級実技試験



技能検定1級課題モデル



技能検定3級課題モデル



技能検定1級実技講習会



技能検定2級実技講習会



技能検定2級実技試験



学科講習会



**横浜北部技術研修会**  
**情報委員会委員**  
**木下 透**

去る4月14日(日) J A  
 横浜東方支店きた総合セン  
 ターにて延段講習会が行わ  
 れた。

鶴見支部、港北支部、神  
 奈川支部を擁する「横浜北  
 部技術研修会」が主催し、  
 青年部等や作庭塾「庭守」  
 が合流し64名参加の盛大な  
 講習会となった。

庭守メンバーが中心とな  
 り作業場に遣方を出し枠組  
 めを準備している間、参  
 加者は座学にて川田秀一  
 氏、渡部定男氏から延段の  
 基本や石材についてのレク  
 チャーを受けた後実作業に  
 入った。まずは講師から丹  
 波石と木曽石の加工方法を  
 学ぶ。延段初心者には馴染  
 みの無いコヤスケ、鉄平ハ  
 ンマー、短キリや石頭、石  
 ノミなどを用いて端部の切  
 り落としなどを行うのだが、  
 力加減や角度などが難し  
 くなかなか思うように割  
 れず苦労していた。

丹波石貼と木曽石の延段  
 との2グループに別れ、午  
 後からは入れ替えて両方を  
 体験出来るようにしたの  
 で、どちらも部分的な自分  
 の持ち場に並べる  
 のがやっとで、全  
 体的な完成を見る  
 ことが出来ないま  
 まいったん作業を  
 止めて、講師の評  
 価を仰いだ。多く  
 の手が混在してい  
 る為、まとまりが  
 無いのは勿論であ  
 るが、許容出来な  
 い石使いや忌み目  
 地を生じている石  
 を外すと、いくら  
 も枠内に残らない  
 のがわかる。

### 木曽石



木曽石作業風景



渡部氏による講評



木曽石による延段の完成

### 丹波石



遣方を出し枠組みの準備作業



募集チラシ



石材の加工風景



川田・渡部氏による座学風景



川田氏による評価



丹波石作業風景



丹波石による延段の完成



渡部氏による評価

夕方に向けてはそれまで  
 手出しを差し控えていた庭  
 守のメンバーが作業に本腰  
 を入れなんとか一応の形に  
 はなったが、その頃には受  
 講者の多くが蚊帳の外で、  
 それを傍観する状況になっ  
 ていた。たった1日ではと  
 んど作成経験の無い受講者  
 を完成にまで導くのは容易  
 ではなく講師の方々も大変  
 苦労されていた。

日曜日返上で早朝からの  
 作業に受講者の疲労の色は  
 隠せなかったが、この中の  
 ほんの数名でもこの日の作  
 業に面白さを見出し、自前  
 で道具を揃え、延段の試作  
 に取り組む若者が居ればあ  
 りがたい。少なくとも今回  
 集まった多くの参加者の熱  
 意は造園業界の明日を期待  
 させるものであったし、経  
 験値0(ゼロ)を1にする  
 ことに大きな意義がある1  
 日だったと思う。



集合写真

**緑支部**  
**青年部研修旅行**  
 (有)平川庭園  
**黒沼 和義**



牛久大仏と梅

白色の長石が約60%を占めていることに起因するそうです。主に建築用として利用され、東京駅や日本橋、東京証券取引所、茨城県庁



デザイナーと石職人のコラボ作品

た、敷地内には著名なデザイナーと稲田石職人のコラボレーションによる様々な作品が展示されていて、同じ稲田石を使っているものにも違う表現

その後は水戸市内の宿まらんで日本三名園に数えられ、何と言っても梅林が有名です。今回は品種にもよりますが3〜4分咲きと言ったところだったでしょう。梅林だけでなく徳川齊昭設計と言われる好文亭や竹林、巨木も混じる杉林など、参加者各自自由に見

学しました。その後は、めんたいパーク大洗や那珂湊おさかな市場、ほしほし専門店などに立ち寄り帰途につきました。今回は初日、2日目とも天気よく充実した研修旅行となりました。

毎年恒例の緑支部青年部の研修旅行、今年は二月二十四日から二十五日にかけて茨城県内の各地を回ってきました。

「石切山脈」と呼ばれる東西約10km南北約5kmの広大な地域で採掘されているとのこと。その特徴は白く澄んだ石肌であり、花崗岩を構成する薄い灰色の石英、白色の長石、黒色の黒雲母の3種の鉱物のなかで

舎など様々な場所で使用されているとのこと。また土木用として間知石、割栗石などとしても利用されています。

稲田石切山脈では採石加工業者の方に案内していただきました。最初は前山と

呼ばれる採掘跡地です。地下65mまで採石された跡地に地下水や雨水が貯まり、神秘的な景観を作り出していました。加工工場内も見学させていただきました。巨大な切削機や研磨作業などを案内していただきました。また

現ができるのかと驚きました。さらに予定には無かった現在採石されている現場にも案内していただき、その規模と実際に採石された巨大な石材、自然に風化してきた丸石など大変興味深い事ばかりでした。

3月17日(日) 緑支部では、横浜市都筑区南山田町にある緑支部支部長の庭匠今西園さんの團場にて、台杉の手入れ講習会を行いました。

当日は、青葉台ガーデナーの森氏を講師に招いて、台杉の特性や移植の時期、剪定方法について学びました。講習当日は、天候にも恵まれて團場にある数十本の台杉が大勢の部員達の手により、綺麗な樹形に仕上がりました。誤った剪定をしてしまうと、台杉の樹勢を弱らせてしまい台無しになると、指導をいただき大変勉強になりました。最後に、仕上がった木を眺めながらお弁当を食べ、解散となりました。

「つくばハム」をいただき、次の目的地である稲田石切山脈に向かいました。稲田石は一般的に御影石と呼ばれる花崗岩の一種で、通称



採石場跡



大仏台座からの景色



採石現場



採石場跡展望台



偕楽園の梅の花



偕楽園の梅林



作業風景



実技指導



講師の森氏

**緑支部 台杉手入れ講習会**  
 幸翠園 小嶋 貴宏

